

＼待ってました！／ 三浦大根、いよいよシーズン本番

2002年12月。「木村さん、在来種の三浦大根って美味しいらしいんですが、作って頂けますか？」との生協からのお願いに「いいよ！」と快諾の一言で栽培が始まった三浦大根。今年で25年（作）目の供給となります。

三浦大根は「大きくて抜くのが大変」「大きくて箱に収まらないので買い手がつきにくい」「大きさのばらつきが出やすい」「育てにくい」等々の理由で段々と作付けが少なくなってしまった品種です。現在では**国内に出回る大根の1%未満**となっていました。しかし、なますにした時のみずみずしさ、風呂吹きにした甘味、ジューシーさは格別です。

(1月2回カタログ4ページ 83番に掲載)



【大根1本を無駄なく使い切る】

(葉と茎)

菜飯に
漬物に

(上部)

陽に当たって
伸びる部分

筋は硬いが
甘みがある

味噌汁に

(真ん中)

おいしい
部分

煮物 ふろふき
おでん・なます
サラダにも

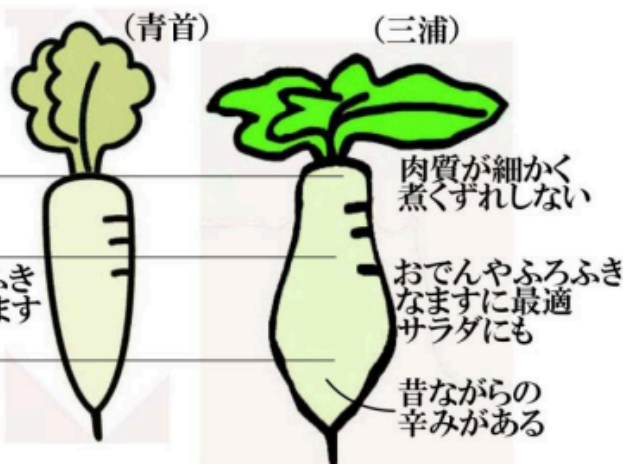
(下部・先)

根の繊維を
伸ばして
栄養を吸う部分

繊維が多い

おろしに

(皮)→ 漬物・切り干し大根に



＊＊おしらせ＊＊＊

今年もシンクイムシ（芯喰虫）が発生し、農薬（非・ネオニコ系）を1回使わざるを得ない状況となりました（それ以降の農薬使用はありません）。

※シンクイムシ：成長点等を食べてしまい、食べられた大根等作物はその後上手になかなか育ちません

2025年12月・2026年1月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク：毎週木曜日**10～14時**活動中です！（出入り自由）12月は4日(木)・11日(木)・18日(木)が開催日です（煮炊きは11日）

12/18(木)脱原発と暮らし見直し委員会

1/31(土)定例理事会

1/12(月・祝)糸紡ぎ講習会

○提携・協同・連帯企画●

1/6(火)ゆめパのじかん上映会@つくば

生協ホームページ



各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します。

- ★【注文番号:500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号:500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号:500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号:500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号:500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円

Instagram



●霜で葉がかれる前の大根葉は自家製 ふりかけ(菜飯)にして無駄なく使いましょう

大根葉のふりかけ(菜飯)

葉をむしって塩ゆでし、細かく刻んで空煎りし、塩とゴマで味付けしてできあがり！日本の「ふりかけ」の元祖はこれ！

葉の茎の部分は、細かく刻んで、皮といっしょに塩もみして漬物に！



●葉をむしる



●塩ゆでてアクを抜き、キッチンペーパーで絞り、空煎りしていく。(事前にレンジでチンして水気を飛ばしてもよい)



●網ざるで空煎りした葉を細かくつぶしていく。下に落ちたふりかけ(右)。塩で味を調え、ゴマを加える。

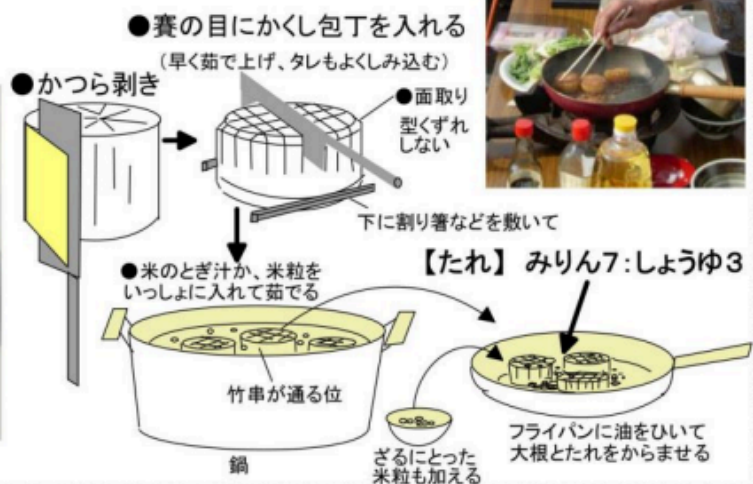
●ふろふきの応用で、子供たちにも好評の 「大根ステーキ」もぜひやってみて下さい！

大根ステーキ

ポイントは「かくし包丁」「米粒」「タレ」



大根は中央部分を使い、ゆずを添える



東海第二原発 運転差訴訟 控訴審 (東京高裁)

お知らせ 12/3(土)東海第二訴訟 第8回口頭弁論は中止に

12/3(水)に予定していた第8回口頭弁論は、裁判長が急病のため中止となりました。12/1に東京高等裁判所から連絡が入ったため、ニュースレターでの告知が間に合わず申し訳ありませんでした。

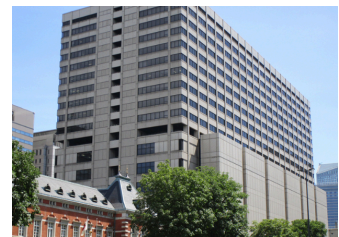
その後、裁判官・原告団・被告・弁護団による「進行協議」が行われ、次回は2026年3月23日(月)14時から第9回口頭弁論の予定です。(第8回期日の延期日は設けないとのこと)。

高裁での口頭弁論は終盤に入っています。

新潟の柏崎刈羽原発に続いて、北海道の泊原発も知事が再稼働に合意を表明してしまいました。

東海第二原発の再稼働可否について、住民の関心が一層大事になってきます。

引き続き、3/23の傍聴応援をよろしくお願いいたします。



ベビーリーフでお馴染みの中村農芸さんより廃業のお知らせ

毎週カタログに掲載している、ベビーリーフの生産者の中村さんから、生産者としては続けられなくなりましたとお手紙が届きました。常総生協とのお付き合いは2010年からで、今年で15年目を迎えたところでした。とても残念です。



拝啓

師走に入り、生協の組合員および職員の皆さまには何かとご多忙のこととお察し申し上げます。

さて私、(株)中村農芸 代表 中村治は今年の8月頃より体調を崩し、以前のように体力がなく、仕事は思うように出来なくなり、皆様には大変ご迷惑をおかけしてばかりです。これ以上のご迷惑をおかけする訳にはいきませんので、令和7年12月31日をもって退会(廃業)することになりました。思い起こせば、私自身、サラリーマン生活20年のち、自分達の食生活を考え、自分達の命を守る為に有機栽培・無農薬による野菜作りに20年近く農業に励んできました。その間、ベビーリーフを中心にサラダ系の野菜作りに取り組んで参りました。

組合員の皆様には永きに渡り、ご愛顧いただき誠にありがとうございました。誠に心からお礼申し上げます。

これからは常総生協の一組合員としてお世話になります。
そして常総生活協同組合の益々のご発展と組合員の皆様には益々の
弥栄をお祈りしてご挨拶いたします。永い間、誠にありがとうございました。

令和7年12月吉日
(株) 中村農芸
代表 中村 治



新理事からのメッセージ

10月25日の臨時総代会で理事に就任した職員稲垣からのメッセージです。

常総生協との出会いは17年前。最初は「美味しいけどお値段高めだな」と利用を躊躇してました。

意識が変わったのは2011の震災以降。ニュースレターを通して様々な情報や、母乳や食品や土壌の放射能検査など真正直に事実と向き合う常総生協の姿勢に励まされ、移住せず関東に住み続けることに。生協の利用が少しずつ増え、素材や調味料だけでなく加工品も買うようになり、外食が減りおうちごはんが増えました(結果、経済的にも◎)。

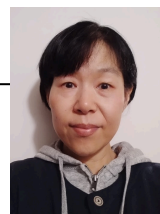
また『脱原発とくらし見直し委員会』参加や子どもの健康調査を国へ要望する活動や甲状腺検診を通して、自分たちの食や健康・環境は他人任せにせず、自分たちで守ろうと意識も変わっていきました。



2017年からパート職員となり商品部でカタログ製作や冷凍食品を担当。昨年からニュースレターや理事会事務局を担当。ニュースレターの毎週発行は大変で、総代会や生協まつり(左写真)の裏方担当も責任が重かったのですが、組合員や生産者を繋ぐものに関われることや励ましの声を頂くこともあって、とてもやりがいを感じています。

このように生き方や暮らし方にプラスになるものを常総生協から沢山もらって、過ごしてきました。これからも常総生協で自分たちで選んで「暮らす・生きるを楽しむ」仲間を増やしていきたいと思っています。

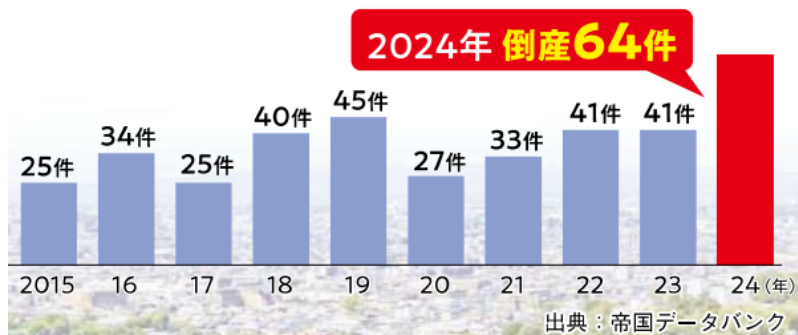
(つくば市 稲垣 芳←カオリと読みます)



地域の医療機関 維持存続への支援を！署名のお願い

ご存じですか？あなたの街の病院が今、危機的な状況で地域医療は崩壊寸前なことを。このままではある日、突然病院がなくなるかもしれません。

医療機関の倒産件数推移



25年予算 前年度比伸び率

防衛費	9.5%
社会保障費	1.5%
物価上昇率	2.7%

物価や賃金上昇の近年にあつて、医療機関に支払われる診療報酬は実質マイナスな状況で、**医療機関の7割が赤字、倒産や廃業が相次ぎ、昨年度は病院の倒産件数も増加。**（今年は更に上回る予想）

この地域医療の問題について、流山市にある東葛病院「東葛健康友の会」代表江口さんから組合員を通して常総生協に署名協力のお願いがありました。

江口さんたちは、

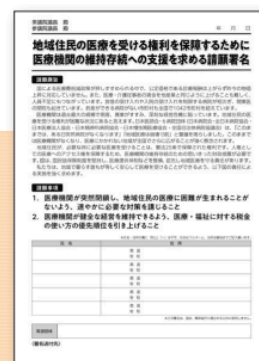
「私たちの健康を守る地域の医療機関が突然閉鎖し、医療を受けることが困難になる前に、医療を受ける側の私たち住民が声をあげようと署名に至りました。」とのこと。

江口さんに来協いただき、お話を伺って、どの地域も他人事ではないと思いました。感染症しかり、だれでも病気に罹ることはあり、ましてや日本は超高齢化社会です。

医療機関が維持できるように速やかに必要な対策を講じる呼びかけの署名にどうかご協力をよろしくお願いします。（目標100万筆のところ、現在42万筆が集まっています）

1. 診療報酬は公定価格です。しかし物価・賃金の上昇に対応して診療報酬が上がっていません。
2. 結果、多くの病院は**深刻な経営難**に陥っています。
3. また、医療・介護に従事する数多くのスタッフの**賃金**を、他産業と同じように**上げることが難しくなっています**。
4. 物価・賃金の上昇に適切に対応した**診療報酬の仕組み**が必要なのです。

地域医療をまもる署名にご協力下さい！



国会への請願事項

1. 医療機関が突然閉鎖し、地域住民の医療に困難が生まれることがないよう、速やかに必要な対策を講じること
2. 医療機関が健全な経営を維持できるよう、医療・福祉に対する税金の使い方の優先順位を引き上げること

地域医療をまもるためには、住民の皆さんの声と力が必要です。地域で、安心して暮らすためにともに声を上げましょう。国民の声こそが、政治を動かす力となります。

医療機関をまもりぬくための署名にご協力ください。

署名提出納期：1月23日（金）まで